

京都府立医科大学 センターオブイノベーション(COI) シンポジウム

「高齢者の地域生活を健康時から認知症に至るまで途切れなく
サポートする法学、工学、医学を統合した社会技術開発拠点」

と き:2014年7月6日(日) 13:00~17:00

ところ:ハイアット リージェンシー 京都

京都市東山区三十三間堂廻り644番地2 (裏面地図参照) ☎075-541-1234

少子高齢化とともに高齢者の方が地域で安全に暮らせる社会の実現が望まれています。京都府立医科大学では、文部科学省及び科学技術振興機構の「革新的イノベーション創出プログラム」の支援により、法学、工学の研究者や企業、行政が一体となった研究開発拠点を設置しました。本シンポジウムでは、現在の社会が抱える課題について考え、拠点が目指す新しい地域包括ケアの形について提案したいと思います。

■開会挨拶<13:00~13:10> 吉川 敏一(京都府立医科大学学長)

■来賓挨拶<13:10~13:30> 井端 泰彦(京都地域包括ケア推進機構理事長 京都府特別参与)
松田 譲(公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団 理事長、
COI STREAM ビジョン1 ビジナリーリーダー)

■講演<13:30~13:50>

「高齢化社会に向けた COI STREAM の取り組み」

江頭 基(文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長補佐)

■取組紹介<13:50~14:30> 奥村 太作(プロジェクトリーダー、(株)ベネッセスタイルケア)
成本 迅(研究リーダー、京都府立医科大学)

■パネルディスカッション<14:45~16:45>

「日本発新しい地域包括ケアの創出を目指して」

<司会>成本 迅

<パネリスト> 飯干紀代子(志学館大学人間関係学部)

小賀野晶一(千葉大学法政経学部)

大槻 知明(慶應義塾大学理工学部)

上林 里佳(京都市成逸地域包括支援センター)

<調整中>(株)村田製作所)

井ノ本秀明(株)京都銀行)

岩丸 宏明(シスコシステムズ(同))

小田 方平(株)LIXIL)

■来賓挨拶<16:45~16:55> 中山 泰(京丹後市長)

■閉会挨拶<16:55~17:00> 福居 顯二(京都府立医科大学附属病院病院長)

【応募方法】

裏面のFAX応募用紙かE-mailで、必要事項をご記入の上、下記宛てまでFAXかE-mailでお申込みください。お申込み多数の場合、会場定員(300名)に達した時点で申込みを締め切らせていただきますので、予めご了承ください。

<必要事項> ①お名前②年齢③性別④ご住所⑤電話番号(以上必須)、⑥FAX番号⑦E-mailアドレス⑧ご所属・役職をご明記ください。

宛先FAX:075-211-7093(京都府立医科大学研究支援課) 宛先メールアドレス:coltem@koto.kpu-m.ac.jp

お問い合わせは、☎075-251-5208(京都府立医科大学研究支援課)

■主催:COIシンポジウム実行委員会(京都府立医科大学、京都府立大学、千葉大学、慶應義塾大学、志学館大学、(株)アイトシステム、
アールエフネットワーク(株)、(株)京都銀行、三昌商事(株)、(株)村田製作所、シスコシステムズ(同)、(株)ベネッセスタイルケア、
ソニー生命保険会社京都ライフプランナーセンター第2支社、(株)IJグローバルソリューションズ、三井住友信託銀行(株)、(株)LIXIL)
■協力:認知症のひと家族の会京都府支部、京丹後市、京都府丹後保健所、京都地域包括ケア推進機構、京都府医師会、北丹医師会、与謝医師会

FAX: 075-211-7093

京都府立医科大学
センターオブイノベーション(COI)シンポジウム
「高齢者の地域生活を健康時から認知症に至るまで途切れなく
サポートする法学、工学、医学を統合した社会技術開発拠点」

参加お申込み書

※は必須です

お名前	※		
年 齢	※	性別	※ 男 ・ 女
ご住所	※ 〒 -		
電 話	※		
FAX			
E-mail			
ご所属・役職			

ご記入いただきました個人情報は、本シンポジウムの運営管理のみに利用させていただきます。

■会場アクセス



ハイアットリージェンシー京都

京都市東山区三十三間堂廻り644番地2 ☎075-541-1234

> 京阪電車七条駅より徒歩5分

> JR京都駅より車で5分



FAX: 075-211-7093